

nouvelle Fontaine

発行日 2017年4月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email:fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

ラジオで文化とまちおこし

特定非営利活動法人ラジオきしわだ 理事長 梶野 昭太郎



コミュニティ放送は巨大災害時に役立ちます。ただ私はラジオきしわだは役立たずの昼行灯であると願ってます。巨大災害は嫌だがこの行灯は灯が点くように常に手入れしておく必要はあります。ご協力をお願いいたします。

こんな私は1949年、岸和田市北町、紀州街道沿いの眼鏡店の長男に生まれました。団塊の世代です。一軒北隣は旧和泉銀行本店で、今も昔も祭りの時は年番本部になります。昭和20年代、30年代のらんかん橋通、鍛冶屋町通は殷賑を極めお店がずらっ、人もいっぱいでした。

大学卒業後東京の銀行に就職しましたが、初任地は大阪支店で実家から通勤しました。半年経った秋、父が胃癌で手術。母に手のかかる男二人は面倒見切れんと言われ、独身寮に入寮しました。これを機に私は岸和田を離れました。

銀行員時代の忘れられない出来事があります。取引先でご挨拶。私が岸和田出身と分かると「紹介したいヤツがいる」と同郷の東出さんと呼び「こいつ入社以来、毎年必ずだんじり祭りは休む」。

だんじりが好きで定年後地元に戻って来ました。

平成17年11月、浪切ホール前お祭り広場で開催された「環境フェア」で、MCの本庄強さんに「まちおこしにラジオ放送をやりませんか」と言われたのがこの道に入ったきっかけです。以来早や11年の歳月が流れました。

ラジオきしわだは平成23年5月10日に開局。「みんなで創る みんなの放送局」をモットーに1年365日24時間1日も休むことなく自分達で制作した番組を放送しています。間もなく丸

6年を迎えますが、電波は目に見えないためラジオきしわだをご存知ない方がたくさん居られます。

そこでどうやって知ってもらうか、無いチエを絞り3つの方法を考えました。

第1の方法は出来るだけ大勢の方にご出演をお願いすることです。出演された方及び知り合いに聞いてもらい、ラジオきしわだを広めて貰えたら嬉しいなという考えです。

第2は聴こえが悪いという方のため、テレビ岸和田のケーブルを通じて放送を聴いてもらえるようにしました。「再放送を委託しました」と毎日放送しているのはこの事です。またパソコンや携帯電話でも聴いていただけるようにしました。毎週火曜日朝にはロサンジェルスからメールが届きます。

第3はお店に伺い「ラジオきしわだを流して」とお願いしました。100超のお店にご協力を願ってラジオを置かせてもらいました。昨秋以降道の駅愛彩ランドでは3本のスピーカーからラジオきしわだが流れています。岸和田の郵便局のうち約半分の局でラジオきしわだを聴いていただけます。

私は岸和田のストリート・ミュージシャンがどんどんラジオきしわだを利用して欲しいなど切望しています。ラジオきしわだがラジオ文化を発信するにはまだまだ時間が掛かりそうですが、良い番組を作り沢山の人の聴いていただきたいと日々もがいております。課題・願望は尽きませんが、一つひとつ乗り越えて行きます。

引き続きご支援・ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

岸和田の大政治家

さ さ き せい がい
佐々木 政 久



佐々木政久は、明治維新の12年前、安政3年（1856）に岸和田藩士佐々木政徳の長男として生まれました。慶応元年（1865）10歳で藩校「講習館」に入り土屋鳳州に学び、また11歳で武術を鍛える修武館にも入館し、文武両道に励みました。明治3年（1870）に父が亡くなり15歳で家督を継ぎました。明治4年（1871）に廃藩置県となり、藩校は閉鎖。岸和田学館となりましたがこれもすぐに閉校されました。

教育・政治・実業界で活躍

その後小学校の教員をしましたが、明治9年（1876）京都府師範学校に入学。翌10年に卒業し京都府小学校教員になりました。同11年（1878）には堺県小学校教員に転職し、翌12年に高木小学校（現在の八木小学校）に勤務し明治14年（1881）まで勤務しました。

明治14年（1881）4月に堺県が大阪府に合併された後、大阪府南部・日根郡書記となり同18年（1885）まで勤めました。

同19年（1886）2月多くの人に推されて大阪府南部選出の府会議員に当選し、いよいよ政界に入ります。

信念を貫いて

政久は「教育と産業は車の両輪のごとし」という信念を持っており、その信念に基づき大阪府立農学校の開設、大阪府尋常

師範学校女子部の設置の実現に尽力。また大阪工業学校、第六尋常中学校（現在の岸和田高等学校）、泉南郡立高等女学校（現在の和泉高等学校）の創設などに尽力しています。大阪府立農学校は、初めは農学科・獣医科だけでしたが、その後養蚕科・製糸科が追加されました。

明治22年（1889）2月に大日本帝国憲法発布。翌23年に第1回衆議院選挙が実施され、政久は大阪府第9区から立候補し当選します。その後第5回の選挙では落選の憂き目をみたものの補欠選挙で当選、明治35年の第7回選挙でも当選し6期議員を勤めましたが48歳で引退しました。

大阪府の農民は全国平均の約2倍という高い地租に悩まされていたのを、府会議員及び衆議院議員時代を通じて地価修正運動に大きな役割を果たし、地租1割7分の軽減に成功しました。

実業界でも南海鉄道、岸和田紡績会社、五十一銀行などの役職に就き活躍します。政久の存在は議員在職中も辞職後も岸和田を中心に泉南地域の政財界に大きな影響力を持ちましたが明治40年（1907）5月、51歳で亡くなりました。

政久の息子たちは金融業界で活躍します。9男の佐々木勇蔵は、昭和26年（1951）に泉州銀行を設立したことで知られています。

参考文献：「佐々木政久伝」

淡路島プチプチ 研修旅行

こずえ
小末 元恵



2月19日、淡路島への研修旅行に参加しました。私は岸和田を飛び出しての文化事業協会行事へは初めての参加です。少々緊張つつ、物慣れた皆様と一緒に、市役所前からバスに乗り込みました。総勢18名の旅の始まりです。

思い思いにお喋りをしているうちに、バスは明石海峡大橋を渡り、淡路島へ上陸です。眺めの良いサービスエリアで休憩をとりました。青空の下リフレッシュした後、最初の見学地淡路市立しづかホールへ向かいました。



しづかホール

しづかホールは、淡路島にゆかりの静御前にちなんだホールとのこと。源義経亡き後、淡路島に隠れ住んだと

いう伝説があるのだそうです。その静御前の舞扇をイメージして作られた建物は、なかなかユニークな外観でした。オーストラリアのオペラハウスか、ジブリの名作に登場する巨大生物か（失礼！）。でも、銀色に輝く屋根は、晴れた空に輝いてとてもきれいでした。この日は『しづかマルシェ』と銘打ったイベントが催されていました。802席を有するホールはこのイベントのため、残念ながら見学はできませんでしたが、フリーマーケットや、ホワイエをギャラリーとして使用しているのを拝見し、地元の皆さんが集い作っている親しみやすい雰囲気を楽しみました。

この後は、お待ちかねの昼食です。淡路ごちそう館御食国は、レンガ造りのレトロな建物で、元は鐘紡の工場だったそうです。御食国は昔、朝廷に天皇のお食事を献上していた国のこと。その名に違わぬ美味しいお食事でした。ことに、陶板焼きの淡路牛が最高でした。

おなが満足した後は、心の満足。淡路人形座で人形浄瑠璃を観劇しました。ここは人形浄瑠璃を上演する常設館です。客席は淡路の瓦や兵庫県産木材で作られた情緒あふれる空間でした。この日の演目は、「ととさんの名は十郎兵衛、かかさんはお弓と申します」で有名な『傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段』でした。最初に人形の仕組み、操る三人の役割など説明を聞き、いよいよ開演です。淀みなく滑らかな人形の動き、太夫

の唄、三味線の音色など、観るうちにどんどん引き込まれていきます。いつの間にか人形遣いの姿は消え、人形たちが息づき、表情豊かに生きて動いているかのような感覚になります。それは、なんともいえない不思議な魅力でした。

観劇後、人形と一緒に記念撮影をして、淡路人形浄瑠璃資料館へと向かいました。ここには、淡路人形浄瑠璃の名門『市村六之丞座』の人形や道具を展示しています。衣装の見事な刺繍や、役ごとに工夫の凝らされた頭など、どれも興味深いものばかりです。最初に、淡路人形浄瑠璃の発祥から華やかなりし時代の様子、現在どのように文化継承のための工夫がなされているかを聞きました。人形浄瑠璃が生まれる以前から、淡路には人形操りの伝統があったそうです。やがて、人形操りと唄、三味線が結びつき、人形浄瑠璃へと発展します。淡路の人形座が日本全国へ人形浄瑠璃を伝え、歌舞伎とともに人気を集めました。歌舞伎の有名な演目『仮名手本忠臣蔵』は、最初人形浄瑠璃の作品だったのがそのまま歌舞伎で上演されたという話は、驚きでした。淡路では後継者を養成するため、行政の支援地域住民のボランティア支援の他、子供会や小中高校のクラブ活動で人形座座員による指導などが行われているそうです。文化を次世代に引き継いでいく為できること、すべきことせねばならぬことは、私たちにも共通する大きなテーマだと強く感じました。

この日最後の見学は、伊弉諾神社です。淡路国一の宮として古くから崇敬されてきました。広くて清々しい境内を通り、本殿に参拝しました。白無垢に紋付き袴の新郎新婦が、写真の前撮りをしているのを微笑ましく見つ、社殿を後にしました。

その場に行ってわかる空気や人の思いは旅の何よりの醍醐味だと、改めて感じた一日でした。参加してよかった。素敵な時間をありがとうございました。



淡路人形座にて

自信と誇り高らかに 3年間の学びの結晶を披露!!

岸和田市立産業高等学校デザインシステム科 卒業制作展

岸和田市立産業高等学校には、デザインシステム科というコースがあります。そして更に専門性を深めるためプロダクト、スペース、テキスタイル、ビジュアルと4分野の専門コースが設けられています。

デザインシステム科では、学んだことを広く披露するため、24年にわたりマドカホールに於いて卒業制作展を開催してきました。

今年は1月20日～22日の3日間展示場において作品展、22日にはホールにてファッションショーという日程でした。

そこで展示やファッションショーを取材させていただきました。



企画・実行 全ては生徒の手で

今年度の卒業制作展のテーマは「glitter」（キラキラ輝く）です。

展示場内は、商業・情報科パネルとデザインシステム科の4分野のパネルの配置がスッキリとデザインされ、スムーズに見て回られました。

プロダクト分野では、木工作品・衣装タンスや飾り棚等、スペース分野では、設計図や建物の模型など、テキスタイル分野は、様々なドレスがボディに着付けられ、また絞り染めや織機にかけて織りあげた布地、小物作品など見飽きません。ビジュアル分野では、イラスト、映像などの作品も各自のテーマや制作への意気込みがはっきりと見え、楽しく見ごたえのある展示でした。

❖会場でデザインシステム科長の川瀬瞳教諭にお話を伺いました。

- 生徒は目的意識を持って入学して来ているので、しっかりと学びます。
- 1年で広く基礎知識を学び2年で2分野、3年で1分野と絞って専門性の深化を図るようにしています。
- デザインとは生活の全ての面に関わるものであるため人に役立つよう、社会に貢献することをしっかりと教えます。

- 各学年1クラスで、制作そのものも協力し合いますし、先輩後輩の縦のつながりを大切にしています。
- 毎年後輩たちは、次に自分たちに順が回って来た時には先輩を越えようと意欲を燃やしています。
- 卒業後の進路はほとんどが進学です。デザイン関係の仕事に就くには更に専門性や技術を磨く必要があると感じて4年制・短期の大学や専門学校などを選んでいきます。

展示場内でプロダクト分野の娘さんを持つ保護者の方にお話を伺いました。

「小学生時代からファッション雑誌を見たり服飾に関心がありました。普通科は自分の進路ではないとはっきり思っていたようです。入試には実技・デッサン・配色が課されるのでそのための受験勉強もしました。1年生で基礎、2年生で2分野を選択、3年生で1分野に絞るというシステムなので、自分が本当は何が好きで向いているかを見極められ、『ここで学んで良かった』と言ってくれたのは親として大変うれしいです。また作品を見て、ああこんなものが出来るようになったんだととても嬉しく思いました」と話してくださいました。

商業科の産業フェアのスペースでは、「泉タコ」の商品化への挑戦が紹介され、生き生きと学生生活を送っている様子が伝わってきました。



圧倒されるファッションショー

ファッションショーでは、先ずホールの開場を待つ人たちの長蛇の列に驚きました。保護者、卒業生、下級生など皆さん期待感に満ちて待っている様子がありありと覗えます。

ホールに入ると、舞台中央にDJがいて場内を盛り上げ、本番を待つ期待感が一層高まるという中々心憎い演出です。

ファッションショーにおいても音響・照明・映像等全て生徒による演出ですし全員出演です。心憎いばかりのテンポの良さでショーが繰り広げられていきます。胸を張り背筋をシャンと伸ばして堂々たるモデルウォークです。

プログラムは3つに区分され、1stステージをjapanese・china。2ndステージをretro・lolita・fancy・cool。3rdステージをbeautyとテーマ別の衣服が音楽に乗って披露されます。舞台の上手・下手から出て交差、花道から客席中央の通路を使つての交差など変幻自在に衣服を見せていきます。衣服のデザイン、色使い、演出など全てに思わず見とれてしまいました。

終了後は、ホール下の階段からホワイエにかけて全員で観客の送り出しです。

観客の皆さん大満足の笑顔でした。

卒業制作展代表の三好亜実さんに声をかけました。「随分充実していましたね」「はい、達成感があります！」と瞳が文字通り輝いていました。

デザインシステム科3年生の皆さんに心からのエールを送りたいと思いました。

皆さん来年は是非卒業制作展・ファッションショーをご覧になってください。

驚き感動しいっぱいの元気がもらえること請け合いです!!

(文責 本郷 元子)





Ichigo-Ichien

私とコーヒーの出会い

西出 安廣

毎日飲むコーヒーをもっと美味しく…ある日UCCの
コーヒー講座生募集を見つけて、これと思い、先ずは大阪
市内UCCコーヒー喫茶直営店に数店行きました。他店と違
うおいしさ…早速申し込む。平成19年4月10日UCC
コーヒーアカデミー・ベーシックコースを終了し、引き続
いてプロフェッショナルコースを受講。

受講後、美味しいコーヒーとは、豆・焙煎・抽出温
度・飲む環境が必要であることを知りました。

コーヒーの風味は、焙煎の度合いや挽き加減（細かく、
荒く等）、淹れ方や用いる器具などにより異なるが、そ
れぞれの持ち味があるのに加えて本人の嗜好の問題で
あるため、万人に最善の方法だと言うものは存在しない
と思いました。

そこで皆さん「ホッ」としたときにあなたは何を飲み
ますか？コーヒーの意外な実力をご存知でしょうか？

1. 食後のコーヒーは胃酸を分泌して消化を助けてくれ
ます。
2. カフェインは脂肪細胞の中に入って、脂肪を分解す
る酵素を活性化してくれます。
3. コーヒー自体にはカロリーがないということです。

だからと言って1日5杯以上になると、
逆に寿命が縮んでしまう可能性も
示唆されています。
やっぱり適量が大切ですね！



ヴェネチアビエンナーレに魅せられて

丹下 千鶴



5年前NHK連続テレ
ビ小説「カーネーショ
ン」で岸和田駅前がにぎ
わっていた頃、観光案内
所がオープンしました。
当初は「カーネーショ
ン」一色でしたが、続い
て大河ドラマ「八重の
桜」や近年の城ブームな
どで、だんじりだけでなく
城下町としても観光に訪
れる方がたくさんいらっ
しゃいます。

案内所ではできるだけ新しい情報をお伝えしようと、岸ぶらという
webサイトを日々チェックしています。ヴェネチアビエンナーレ
(2015)も岸ぶらで知りました。日本館担当の塩田千春さんが岸和田
出身だと知り、新聞の展示風景の写真をみて「これは行ってみたい」
と思いました。幼なじみの友人に話したら、塩田さんの作品を以前横
浜で見たことがあり大ファンだとのこと。岸和田出身だと知らせると
「え〜っ！」と驚きヴェネチア行きが決定しました。

3日間のチケットを購入して観て回ったのですが、何といても日
本館が一番素晴らしかったです。日本館の作品名は「掌(てのひら)の
鍵」。入口に入ると心地よい真っ赤な広い空間に2艘の船があり赤い
糸を天井から下に向けて絡み合わせ、その先に総数18万個の鍵がち
りばめられています。

当時の写真を見直してみると今でもその時の感動が蘇ってきます。
絡まった赤い糸とその先に結ばれた無数の鍵の数々、それが計算さ
れた光の中の空間に埋め尽くされている、圧倒される程の数であるの
にとっても居心地がいい、ずっとその場に居たくなる、私達2人はかな
りの時間それぞれにその場所にいました。

帰国してから友人の写真を見せてもらったら、私の撮ったアングル
と全く違う船の底辺りに錆びた鍵が積み重なっている写真がありまし
た。私にはその部分が見えていなかったことを知らされました。別の
友人に写真を見せると赤い糸が人間の血管のように見えると言います。
人によってとらえ方が違うのですね。

「赤い糸は鍵、つまり人をつなぎ、鍵の記憶つまり人の記憶を紡い
でいます。」と塩田さんは言っています。人生の鍵、心の鍵、防犯の
鍵、いろんな鍵がありますが『^{てのひら}掌の鍵』—The Key in the
Hand』は、目のつけどころが何なのかわからないのですが、私の心
の鍵を開いてくれました。

野澤松也 創作浄瑠璃 新春弾語りライブ

平成29年1月27日(金) 午後7時開演

昔話や民話などを浄瑠璃風に書き下ろし、節をつけて弾語りにするのが創作浄瑠璃です。

野澤松也さんは歌舞伎の舞台上で三味線を弾く傍ら、ライクワークとして、創作浄瑠璃の演奏活動を続けています。

来場された50名近い方々が、感動し楽しい一時を過ごしていました。

皆さんの声

- ◆初めて自泉会館に来ましたが、時間がなくてゆっくり館内を見学できなかったことが残念です。和の文化を伝えていく事は素晴らしいことです。私が住む市も、このようなイベントを主催しているのか気になりました。
- ◆浄瑠璃を初めて聴きました。解説やお話もあり、初心者にもわかりやすく、歌舞伎や文楽も、一度観てみたいと思いました。
- ◆三味線がこんなに語るものか、よくわかりました。おばあちゃんが残した三神位ある三味線、つま弾いてみたいくなりました。
- ◆生の音での演奏を間近で聴くことができ、楽しかったです。三味線の音色や文楽、歌舞伎で使われる同じ曲でも違いがあることを知りました。



第6回自泉ジュニアコンサート

平成29年2月26日(日) 午後2時～

皆さんの声

- ◆皆さんの演奏のすばらしさに感動させてもらいました。日々の練習の積み重ねの結果が今日の発表会につながったのでしょね。
- ◆素晴らしい演奏と歌声に感動しました。午後のひととき、心が和らぎました。
- ◆今後も、若い人たちの文化事業発展のために、ご尽力下さることを望みます。
- ◆初めて聴きに来ました。各演奏者とも良かった。年長者はやはり習熟度が高かった。次回も是非来たいです。
- ◆学年が上がるにつれて、素晴らしい演奏でした。ヴァイオリンとピアノの息がぴったりで、とてもステキでした。声楽の方は、プロで活躍してほしいです。上手でした。

2月4日のオーディションで選ばれた、小学校低学年から高校生まで20名の方が演奏しました。130名もの入場者があり、最優秀賞に粟田順平さん(小6・ピアノ)、優秀賞に有馬更紗さん(小2・ピアノ)、土生夏未さん(高3・声楽)が選ばれました。

蓄音機を使った昭和初期のレコードコンサート Vol.12

平成29年3月14日(火) 午後1時30分～2時30分

昭和初期の蓄音機でSPレコードの音色を聴きました。大阪市内や北摂にお住まいの方も来られています。チラシやインターネットで周知されています。今回、初めて参加された方が多かったようです。これからも情報発信をしてまいりますので、気楽にご参加ください。



皆さんの声

- ◆70歳近いですが、生まれて初めて聴きました。貝塚公民館で月1回レコードを聴きに行っていますが、電子機器とはまた違う情緒ある音で、また来ます。
- ◆昔の人の声のすばらしさ。聴いたことのない曲も多かったですが、楽しい一時でした。心癒されました。
- ◆昭和初期の曲!... どういう人がこのような曲を聴いていたのか考え、明治40年ころ～大正の初期の時間も生計ゆとりある人々か。今、生きておれば100歳は超えている。楽しい時間、ありがとうございました。
- ◆楽しく拝聴しました。蓄音機の音色が好きなので、インターネット上で各地の「蓄音機コンサート」をさがして、参加しています。
- ◆よく手入れされていた蓄音機、レコードも雑音の少ない美盤のオンパレードですね。しっかりした音で、楽しく聴かせていただきました。次回も楽しみにしています。

平成23年度からの新しい取り組みとして、市内文化施設3館(マドカホール・自泉会館・浪切ホール)が合同で事業を制作。コンセプトは、『岸和田にこだわり、市民が参加すること』。平成28年度はオペレッタ「桃と赤鬼」をテーマに、プロと市民の合唱団が岸和田の魅力ある舞台をお届けしました。

3館合同事業 オペレッタ「桃と赤鬼」

平成29年3月19日(日) 午後2時～ 於:マドカホール

皆さんの声

- ◆子供から大人まで、とても楽しい時間を過ごすことができました。私は昔話の語りをしておりますので、桃と赤鬼の話を知りたいと思います。
- ◆素晴らしかったです。鬼さんがいいですね!!
- ◆はじめて「桃と赤鬼」を知りました。
- ◆見応えもあり、とても素晴らしかったです! また、ぜひ聴きたいです。



第10回フレッシュプレミアムコンサート

平成29年3月25日(土) 午後5時～ 於:マドカホール

年5回程度開催しています「自泉フレッシュコンサート」の出演者の中から、1年の総まとめとして優秀な方を推薦し、マドカホールでお披露目をしています。優秀賞に大村優希恵さん(フルート)、中道亜莉沙さん(ピアノ)、今年度から設けられたオーディエンス賞に柴田由貴さん(ヴァイオリン)が選ばれました。



皆さんの声

- ◆すごくハイレベルな演奏で驚きました。皆さん素晴らしかったです。
- ◆フレッシュコンサートの時から、成長された方が多く、演奏の機会の大切さを感じました。
- ◆いろんなジャンルの楽器が聴けて、大変良かったです。とくに、ヴァイオリンとギターのコラボは初めてで、2つの弦の音色が絡み合う音は、大変感動しました。
- ◆いろんなアーティストが一気に見られるのは、とても良かったです。オーディエンス賞に投票できるのも楽しく、身が引き締まりました。
- ◆これからも、若い演奏者の未来へ羽ばたいていくための場に尽力下さるようお願いします。



第9回フレッシュプレミアムコンサート最優秀賞受賞記念 森田美穂クラリネットリサイタル

平成29年3月26日(日) 午後2時～

昨年のプレミアムコンサートで最優秀賞に選ばれた森田美穂さんによるリサイタルです。クラリネットの音色に癒された素敵な時間でした。

皆さんの声

- ◆くるみ割り人形のテクニックは、クラリネットの新しい魅力にも気付かされ、魅了されました。
- ◆アットホームな空間で、とても近くで聴けて良かったと思います。クラリネットが主役のリサイタルはめずらしく、作曲家や曲のことを背景まで詳しく説明してもらい、興味を持って聴けました。
- ◆フランス風の音楽、バレエ音楽、オペラ音楽あり、クラリネットの技音、魅力をあますところなく聴かせて頂いた。素晴らしい演奏会でした。

岸和田文化事業協会の事業 Information



平成29年度 定時総会開催



平成29年度定時総会を下記の要領で開催します。

日時：平成29年6月3日(土) 場所：岸和田市立自泉会館
午後2時より

内容

第1部 総会 ①平成28年度事業・決算報告 ②29年度事業計画・予算案審議
第2部 会員によるクラシックコンサート ※展示室では会員展を開催しております。

岸和田文化事業協会 会員によるクラシックコンサート出演者募集!

日時：平成29年6月3日(土)
午後3時45分(総会終了15分後)～5時の予定
リハーサルは当日の午前中を予定しています。
出演者の方は必ず総会にも出席してください。

《募集要項》

- ・岸和田文化事業協会会員であること。
- ・声楽・ピアノ・楽器(音響機器を使わないもの)で、ソロ・アンサンブルは問いません。
- ・1組10分以内。
- ・6組出演予定。
- ・5月10日までに、名前、住所、連絡のつく電話番号、簡単なプロフィール、演奏曲(作曲者名)、演奏楽器名、演奏時間をお書きの上、岸和田文化事業協会までお届ください。
- ・人数多数の場合はこちらで審議いたします。希望に添えない場合はご了承ください。

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

文化情報

『第68回岸和田市市展』への出品を募集いたします

自作未発表のものに限ります。

資格 平成14年4月1日以前に生まれた人
出品料 500円
搬入場所 マドカホール 展示場(荒木町1丁目)

会期	部門	体裁	出品数	搬入日時
第1期	洋画	額装(ガラス不可)	1人1点	5月9日(火)・10日(水) 午後1時～7時 展示期間 5/14回～21回
第2期	染織	額装・屏風・着物・タペストリー・オブジェ等	1人2点以内	5月23日(火)・24日(水) 午後1時～7時 展示期間 5/28回～6/4回
	陶芸	皿立て等、装飾的付属品不可	1人2点以内	
第3期	書	額装・軸装・裱装・衝立・屏風・帖・巻物・刻字	1人1点	6月6日(火)・7日(水) 午後1時～7時 展示期間 6/11回～18回
	日本画	額装(ガラス・アクリル不可)	1人1点	
第4期	写真	パネル張り・額装(ガラス・アクリル不可)	1人1点	6月20日(火)・21日(水) 午後1時～7時 展示期間 6/25回～7/2回
	俳画	額装・軸装	1人2点以内	

※作品の額縁などにはつり下げ用のひもを必ず付けてください。

詳しくはマドカホールにて配布中の募集要領をご覧ください。

問合せ先：マドカホール 電話：443-3800 月曜日休館

第3回岸和田文化事業協会 会員展

岸和田文化事業協会の会員による絵画・書道・陶芸・パッチワークなどの作品展です。

日時：平成29年6月2日(金)～6月4日(日)
午前10時～午後5時(最終日のみ午後4時まで)

場所：岸和田市立自泉会館 展示室

入場料：無料

◆ワークショップに参加しませんか◆

	6月2日 金曜日	6月3日 土曜日	6月4日 日曜日
10:00～12:00	「エレガントにストレッチ」 ※10:30～11:30	「お箸入れとポチ袋作り」	「ちびっと人形劇」
13:30～15:30	「自分で挽いたお抹茶を飲みましょう」	総会中ですのでこの時間はお休みです	「羊毛フェルトで作るちっちゃなペンギン」

有料、申し込み必要。詳しくは、チラシをご覧ください。

だがつきスイッチコンサート

0才から大人まで楽しめるコンサートです。
思わず体が動き出す楽しいリズム、心はずっとしみこむ優しい音色に触れてみませんか。
マリンバ体験コーナーやみんでリズムコーナーもあるよ。

日時：平成29年5月28日(日) 2回公演

1回目 開演：午前11時(開場：午前10時45分)

2回目 開演：午後1時(開場：午後0時45分)

場所：岸和田市立自泉会館ホール

入場料：大人1,500円(当日500円増)

子ども(中学生以下)500円(当日同額)

親子ペア(大人1人と未就学児1人)1,500円(当日500円増)

出演者：『だがつきスイッチ』安永早絵子・安永友昭

第16回 由季パワークキルトクラブ作品展

日時：平成29年5月18日(木)～20日(土)
午前10時～午後5時(最終日のみ午後4時まで)

会場：岸和田市立浪切ホール(多目的ホール)

主催者：小木曾 由季 入場料：無料

問合せ先：小木曾まで TEL 072-422-2004

平成29年度(平成29年4月～平成30年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
(入会費不要) 家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。

郵便振込の場合は 口座番号 00970-9-28145

加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle
Fontaine vol.55

発行：岸和田文化事業協会

発行日：2017年4月25日

◆事務局

〒596-0073

岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員

本郷元子・黒木幸子・小島栄子
歯黒猛夫・藤田保平・堀野和人

編集後記...

寒さ厳しい冬からポカポカ陽気の春へ。

春は旅立ちの季節です。

今回取材に行った産業高校の生徒さんたちもそれぞれ希望の進路へと。わが家の娘も家を出て一人暮らしを始めました。

暖かい春、でも時々寂しさを感じる今日この頃です。

(小 島)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索